

社団法人 日本技術士会
第26回 中小企業活性化研究会・交流会

中小企業の活性化による産業新時代の創造
～ 神奈川力を高める中小企業と技術士の役割 ～

開催日時

平成22年2月4日(木) 9:30～19:30

見学会

(A)テクニカルショウヨコハマ2010展示会見学 (10:00～12:00)

(震災展・防災講演会同時開催)

(B)神奈川県産業技術センター施設見学会 (9:30～11:00)

研究会

(13:00～17:10)

横浜シンポジア(産業貿易センタービル9階)

交流会

(17:20～19:30)

横浜シンポジア(ラウンジ)

主催

社団法人 日本技術士会

後援

文部科学省、経済産業省中小企業庁、神奈川県

協賛 (順不同)

川崎市、相模原市、横須賀市、横浜市経済観光局、神奈川県産業技術センター
神奈川県立東部総合職業技術校、(社)神奈川県商工会議所連合会、横浜商工会議所
川崎商工会議所、相模原商工会議所、横須賀商工会議所、小田原箱根商工会議所、平塚商工会議所
厚木商工会議所、秦野商工会議所、伊勢原市商工会、(財)神奈川産業振興センター
(財)横浜企業経営支援財団、(財)川崎市産業振興財団、(財)藤沢市産業振興財団
(財)横須賀市産業振興財団、(財)相模原市産業振興財団、神奈川県中小企業団体中央会
(財)神奈川科学技術アカデミー、(株)ケイエスピー、(株)さがみはら産業創造センター
よこはまティーエルオー(株)、横浜国立大学、日本起業家協会、神奈川県漁業協同組合連合会
小田原蒲鉾協同組合、神奈川新聞社、日刊工業新聞社

企画運営・協力

社団法人 日本技術士会 中小企業交流実行委員会

社団法人 日本技術士会 提携 神奈川県技術士会

■ 開催にあたり

中小企業は優れた技術、技能を創造・開発し、我が国の産業の発展を支えており、今後も、ものづくり技術の革新、新たな事業創出等、取り組むべき課題は多岐に亘っています。こうした中、「中小企業の活性化による産業新時代の創造～神奈川力を高める中小企業と技術士の役割～」を主テーマに、新たな時代を創造する技術士の役割を模索します。そのために研究会では、中小企業のものづくり支援をテーマとした講演、「産業新時代に向けて中小企業に対する技術士の貢献」をテーマにパネルディスカッションを企画いたしました。より多くの皆様のご参加を戴きたく、ご案内申し上げます。

プログラム

☆ 研究会

横浜シンポジア(産業貿易センタービル9階)

13:00～13:05	開会挨拶	社団法人 日本技術士会 会長	高橋 修
13:05～13:10	来賓挨拶	神奈川県知事(予定)	松沢 成文 氏
13:10～13:45	特別講演	「中小企業ものづくり支援策について」 中小企業庁 創業・技術課長	喜多見 淳一 氏
13:45～14:20	特別講演	「神奈川県の産業振興策について」 神奈川県商工労働部長(予定)	小林 賢 氏
14:20～15:20	基調講演	「Small is beautiful. 小さいことはよいことだ、 21世紀のマーケットは中小企業が創る。」 首都大学東京 名誉教授 工学博士 (スタンフォード大・コンサルティング教授、 放送大学・客員教授、日本学術会議・連携委員)	福田 収一 氏

《 休憩 》

15:30～17:05 パネルディスカッション

「産業新時代に向けて中小企業に対する技術士の貢献」

コーディネーター 神奈川県技術士会 会長

大川 治

パネリスト

神奈川県産業技術センター

所 長

馬飼野 信一 氏

青山技術士事務所

所 長

青山 進 氏

(株)インテリジェントセンサーテクノロジー(味覚センサー)

代表取締役 社長

池崎 秀和 氏

ループウイング(株)(風力発電機)

代表取締役

吉田 穰 氏

(株)静 科(金属製吸遮音パネル 一人静)

経営企画室 室長

武 紘一 氏

(株)ナレッジクリエーション(Web 合成音声配信システム(vds))

代表取締役 社長

新城 直 氏

17:05～17:10 閉会挨拶 中小企業交流実行委員会 委員長 二宮 孝夫

《 移動 》

17:20～19:30

☆ 交流会

横浜シンポジア(産業貿易センタービル9階 ラウンジ)

※ 講演内容等は都合により予告無く変更する場合がありますので、ご了承ください。

見 学 会

(A) テクニカルショウヨコハマ2010
平成22年2月4日(木)

時 間：10:00~12:00、参加費：無料

見学方法：各自申込書に記入して自由見学
(神奈川県技術士会ブースで資料配付)



(B) 神奈川県産業技術センター
平成22年2月4日(木)

時 間：9:30~11:00

参加費：無料(定員30名)

集 合：神奈川県産業技術センター正面9時30分



研究会・交流会

☆ 研究会

平成22年2月4日(木)

時間13:00~17:10

場所：横浜シンポジア

(産業貿易センタービル9階)

参加費(資料代含)：1,000円

☆ 交流会

平成22年2月4日(木)

時間17:20~19:30

場所：横浜シンポジア(ラウンジ)

会費：5,000円



【各会場への交通】

※(A) 見学会会場 ・JR桜木町駅下車、徒歩10分程度。

・みなとみらい線みなとみらい駅下車、徒歩5分程度。

⇒ 研究会会場へは、徒歩20分程度、又は、みなとみらい線日本大通り駅下車、徒歩5分程度。

※(B) 見学会会場 小田急電鉄線海老名駅、又は、相模鉄道線海老名駅下車 徒歩15分程度。

⇒ 研究会会場へは、相模鉄道線(急行)で終点の横浜駅で下車し、

みなとみらい線(各駅停車)に乗り継ぎ、日本大通り駅下車、徒歩5分程度。

申込票

送信先 (社)日本技術士会

Fax 03-3459-1338

第26回 中小企業活性化研究会・交流会

ご提出いただいた個人情報には当行事の参加者管理にのみ使用いたします。

なお、研究会当日の机上資料として参加者名簿を配布の予定です。

参加者名簿に氏名、会社名、(技術士の場合は技術部門も)記載をご了承いただけますか？

(複数の技術士部門を書かれた場合、名簿記載は先頭に書かれた部門のみ掲載します)

記載を承諾する (記入例 チェックの無い場合は記載しません)

参加者氏名 _____ (フリガナ)

住所 _____

所属会社名 _____ 部署 _____ 役職 _____

住所 _____

(技術士の方は部門もお書き添えください) 技術部門 _____ 部門

連絡先 Tel: _____ Fax: _____

E-mail _____

各申し込み内容について○で囲んでください(見学会のみのご参加はご遠慮下さい)

(A) 見学会 テクニカルショウヨコハマ2010 参加 (無料)

(B) 見学会 神奈川県産業技術センター 参加 (無料)

研究会(横浜シンポジア) 参加 1,000円 不参加

交流会(横浜シンポジア ラウンジ) 参加 5,000円 不参加

合計【 _____ 】円

参加費振込予定日 年 月 日

※ お手数ですが、本申込書はお一人用一枚でご記入下さい。複数の場合は、コピーしてお使い下さい。

参加費振込先

郵便振込先 口座番号 00170-4-63781 口座名 (社)日本技術士会
(納入されました参加費は不参加の場合も返却しませんのでご了承下さい)

お申込み期限:平成22年1月29日までお願い致します。

本申込書に必要事項を記載の上、郵送又はFaxにてお送り下さい。

お問い合わせ先

(社)日本技術士会

Tel:03-3459-1331(代) Fax:03-3459-1338

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル8F

<http://www.engineer.or.jp/cmt/chusho/>

(社)日本技術士会 提携 神奈川県技術士会

Tel:045-210-0337(代) Fax:045-210-0338

〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンターM209号

URL <http://www.e-kcea.org/> E-mail: kcea@k06.itscom.net